

感染症についてのお知らせ



墨田区保健所 保健予防課 感染症係 区役所 3階
電話 03-5608-6191(直通) FAX 03-5608-6507

令和3年
5月号

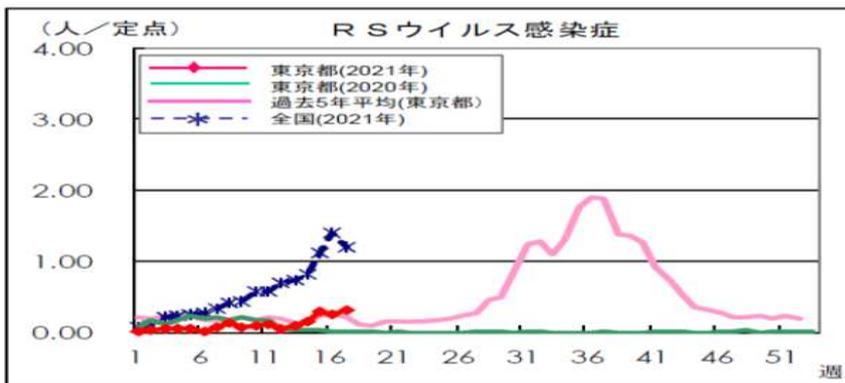
東京都内の感染症流行情報

RSウイルス感染症と突発性発疹の定点当たり報告数は、増加傾向にあります。

感染症のお知らせ

RSウイルスについて

◆ 小児科定点



定点把握対象疾患定点医療機関当たり
報告数(2021年17週現在)

都内におけるRSウイルス患者報告数
東京都感染症週報より引用

< RSウイルス感染症とは >

RSウイルスによる呼吸器系の感染症です。患者の75%以上が1歳以下の小児で占められています。

< 原因と感染経路 >

病原体はRSウイルスです。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスを吸い込むことによる「飛沫感染」が主な感染経路です。その他、ウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」もあります。

< 症状 >

潜伏期間は4～6日です。症状としては、軽い風邪症状から重い肺炎まで様々です。低出生体重児、心疾患、肺炎疾患、免疫不全のある方は、重症化のリスクが高いと言われています。初めて感染した場合は症状が重くなりやすいと言われています。

乳幼児期、特に1歳以下でRSウイルスに初感染した場合は、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。

< 治療 >

特別な治療法は無く、症状に応じた対症療法が行われます。

< 予防のポイント >

予防接種はありません。適切な接触感染や飛沫感染に対する感染予防対策をとる事が大切です。

飛沫感染対策として、マスクの適切な着用や咳エチケット、接触感染対策としての手洗いや手指衛生といった基本的な対策を徹底しましょう。

<登校（園）の目安>

呼吸器症状が消失し、全身状態が安定している場合は登校（園）が可能です。

子どものMR（麻しん風しん混合）の予防接種をしましょう

麻しん（はしか）は感染力が強く、かかると重篤な肺炎や脳炎を引き起こすこともあります。空気感染するので、手洗い、マスクのみで予防できません。予防接種が最も有効な予防法です。風しん（三日ばしか）は妊婦が妊娠早期にかかると、先天性風しん症候群とよばれる、心奇形・白内障・聴力障害児が生まれる可能性が高くなります。麻しん風しんともに、予防には予防接種が有効ですが、効果を持続させるためには1歳時の接種に加え、2回目の接種（MR第2期）が大切です。忘れずに接種しましょう。

<子どものMR（麻しん風しん混合）の定期予防接種について>

定期予防接種の対象期間

【1期】：12か月（1歳）～24か月（2歳）に達する前日まで

【2期】：5歳以上7歳未満で、小学校就学前の1年間（年長児の4月1日～翌年3月31日）

MR2期定期接種対象のお子さん(平成27年4月2日～平成28年4月1日生まれ)は、令和4年3月31日を過ぎると定期接種として受けることができなくなります。できるだけお早めに接種してください。

接種のために必要な接種記録票は令和3年3月末頃に区からお送りしていますが、お手元がない方は、保健予防課感染症係（：03-5608-6191）までご連絡ください。

<子どものMR（麻しん風しん混合）の任意予防接種を公費負担しています>

墨田区では、MR（麻しん風しん混合）の定期接種期間中に受けることができなかった方で、次の対象年齢の方に、接種費用の助成を行っています。

【対象者】 平成15年4月2日から平成27年4月1日までに生まれたお子さん

平成28年4月2日以降に生まれた生後24か月以上のお子さん

麻しん・風しん両方をり患した方は除きます。

【実施期間】 令和4年3月31日まで

【接種場所】 墨田区内予防接種実施医療機関

【費用】 無料。ただし、墨田区内予防接種実施医療機関で接種する場合があります。

【申し込み方法】 接種を希望する人は接種前に電話で下記にお申込みください。申込み後、医療機関にお持ちいただく予防接種予診票を郵送します。

【申し込み・問い合わせ先】 保健予防課感染症係 電話：03-5608-6191

向島保健センター 電話：03-3611-6135

本所保健センター 電話：03-3622-9137

このお知らせは、東京都感染症情報センター（<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/>）の情報及び東京都健康安全研究センターが集計を行った「東京都感染症発生動向調査週報」（<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/epidinfo/>）を基に作成しています。